

# ボーリング柱状図

調査名 梅林緑道地質調査業務委託

ボーリングNo. 1

事業・工事名

シートNo. 2

ボーリング名	No. 1		調査位置	福岡市城南区梅林一丁目 地内			北緯	33° 32' 32.0"		
発注機関	福岡市 住宅都市局 みどりのまち推進部 みどり整備課			調査期間	平成 29年 1月 27日 ~ 29年 1月 31日		東経	130° 21' 40.2"		
調査業者名	株式会社 日本ボーリング 電話 (092-404-7575)		主任技術者	平野 徹	担当技術者	三原 昌明	コア鑑定者	平野 徹	ボーリング責任者	山本 實
孔口標高	54.12m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用機種	D0-D型	
総掘進長	9.00m	度		向		試錐機	ハンマー 落下用具		半自動落下式	
						エンジン	NFAD8型		ポンプ	
								BG-3型		

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					N 値	原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験 (掘進)						
										深	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	深	度						度					
53.32	0.80	0.80	表土・礫混じり砂		暗褐			細砂を主体とし、所々に花崗岩礫を含有する。木根を混入する。		1.15	5	6	6	17/30	17										
			強風化花崗岩	黄褐～茶褐～褐灰				土柱状コアで採取される。岩組織は明瞭に残すが、指圧で容易に潰れ礫混じりシルト質砂状となる。GL-5m以深より、鉱物粒子が粗くなる。GL-6.6~6.8m間は高角度の変質脈を有し、鉱物は白色粘土化する。		2.15	2	2	3	7/30	7										
															2.45										
															3.15	2	2	3	7/30	7					
															3.45										
															4.15	3	4	4	11/30	11					
															4.45										
															5.15	3	4	5	12/30	12					
															5.45										
															6.15	6	8	8	22/30	22					
															6.45										
			風化花崗岩	褐灰				土柱状コアで採取される。指圧で潰れ礫混じり砂状となる。N値50以上を示す。		7.15	10	16	17	43/30	43										
46.12	7.20	8.00													7.45										
															8.15	12	16	22	50/30	50					
45.12	1.00	9.00							8.45																
									9.15	14	16	20/9	50/29	52											
									9.44																

- ・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があり、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
- ・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。